

# 地域に根ざした継続性ある活動を！ 子どもから高齢の方まで、 すべての「人」の安全を目指しています

安全運転普及本部 事務局長

千葉 英雄

## はじめに

Hondaは二輪・四輪・汎用製品を製造販売する会社として、お客様に対して単に製品をお渡しするだけでなく、安全も一緒にお渡しするという理念のもと、「Hondaが社会的責任として行う企業活動」として、1970年から安全運転普及活動を続けてまいりました。

現在は、ますます複雑化する混合交通社会の中で、運転する方だけではなく、子どもから高齢者の方々まで、いわゆる生涯教育の1つとして、すべての交通参加者を対象に普及活動を展開しております。

私どもの普及活動は「指導者の育成」「教育の場と機会の提供」「教育プログラムと手法の開発、教育機器の開発・提供」を3本の柱とし、

- 1.全国にあるHondaの二輪・四輪・汎用製品を販売する会社での店頭活動
- 2.全国8カ所の交通安全センターの各種安全講習会

で、参加体験型の教育、啓発活動を実践してまいりました。

私どもはこれらの活動を通し、交通安全の活動が、各地、各所で根を張り、大木に育つことを理想としています。交通安全の活動は、一過性のものではないからです。「指導者の育成」を柱の1つとしてきたのは、各地、各所で地域に根ざした交通安全活動を定着させ、継続的に進めるための核となる

人たちだからです。

## 南から北まで全国展開を目指す

### 新たな取り組み

#### 1.九州地区の活動からスタート

地域に根ざした定着性、継続性のある活動を全国的に展開するため、今年は2つの新しい活動に取り組みました。

1つはこの4月から熊本製作所に普及活動の専任部隊を組織化し、九州地区を対象に始めた交通安全の新しい取り組みです。Hondaの製作所や研究所、関連企業のある地域をベースに、全国的に展開しようというもので、まず熊本製作所のある熊本県からスタートさせました。

地域に根ざした活動には、これまで鈴鹿製作所のある三重県を中心に、子どもたちを対象にした「あやとりい」\*教育や高齢者の自転車教育、歩行者教育を行ってきた実績があります。

今年熊本を拠点に始めた活動は、私どもと、関連企業が一緒に行うもので、九州地域にある関連企業の皆様の賛同を得て、各社の従業員からなるインストラクター集団を作り、一体となって活動を展開しております。

私どもは関連企業のインストラクターをHondaパートナーシップ・インストラクターと呼んでいます。

わずか半年の経験ですが、地域には交通安全に

\* あんぜんを・やさしく・ときあかし・りかいして・いただくの略。幼児向け「あやとりい ひよこ編」、小学3、4年生向け「あやとりい」、小学生対象の「あやとりい 自転車教室」、高齢の歩行者・自転車利用者向け「あやとりい 長寿編」があります。



ついて、子どもにも高齢者にも、また各種の企業や団体にも多くのニーズがあり、また適切な教育プログラムが求められていることを切実に感じています。

私どもが生涯教育の一環として開発した幼児・学童向け「あやとりい」、高齢歩行者や自転車利用

者対象の「あやとりい 長寿編」、あるいは企業・団体用の「危険予測トレーニング」などの教育プログラムは、地域のニーズに応えるものとして皆様から歓迎されていると実感しています。

今後も、地域や団体が必要とする指導者育成の支援、またすでに活躍している交通安全指導員な

### 安全運転普及活動の体制

活動の場				活動内容	指導者	主な対象			
						子ども	学生	成人	高齢者
国内	販売会社	四輪	レインボーディーラー制度	店頭安全アドバイス 安全ミニ講習会 ドライビングスクール 地域の交通安全活動協力	セーフティコーディネーター チーフセーフティコーディネーター				
		二輪	セーフティサポートディーラー制度	店頭安全アドバイス ライディングスクール 地域の交通安全活動協力	ライディングアドバイザー スポーツライディングスクール インストラクター				
		汎用		店頭安全アドバイス	モンパル安全運転インストラクター モンパル安全運転指導員				
	交通教育センター		運転者、指導者研修 二輪・四輪販売拠点研修 一般ライダー、ドライバースクール ドライビング・ライディングシミュレーターによるトレーニング 指導者の交流と指導力向上のためのイベント、競技会 各年代別講習	交通教育センターインストラクター					
	地域活動拠点		地域の交通安全活動協力 指導者養成協力	Hondaパートナーシップ・インストラクター					
	自動車教習所との連携		地域の交通安全活動協力						
	Honda事業所・関連会社		従業員への交通安全指導 Hondaファーストエイド	安全運転インストラクター Hondaファーストエイド主任講師 Hondaファーストエイドインストラクター					
	地域活動		教材開発 指導者育成 授業実施	教職員 交通安全指導員					
	業界活動		交通安全キャンペーン 交通安全教育プログラムの編纂 指導者養成協力						
	海外	現地法人		販売拠点(四輪・二輪)	店頭安全アドバイス ドライビングスクール ライディングスクール 地域の交通安全活動協力	販売拠点インストラクター			
			交通教育センター	指導者研修 二輪・四輪販売拠点研修 一般ライダー、ドライバースクール ドライビング・ライディングシミュレーターによるトレーニング 地域の交通安全活動協力 運転免許取得講習 指導者の交流と指導力向上のためのイベント、競技会	交通教育センターインストラクター				



ど指導者の方々の活動支援のために、Hondaの教育プログラムやノウハウを積極的に提供していきたいと考えています。

当然のことですが、地域の活動では、自治体、警察署など行政・諸団体や地域住民の皆様との密接な連携が不可欠です。一層のご支援、ご理解をいただきたいと願っております。

## 2. 指定自動車教習所との連携

今年、新たに始めた活動の2つ目は、地域の中で交通安全活動を積極的に進めておられる指定自動車教習所様との連携です。

私どもの交通教育センターがカバーできる範囲は限られています。活動エリアを全国に広げるためには、私どもと同じような考えで活動を進めておられる自動車教習所様との連携が不可欠と考えています。

すでにいくつかの自動車教習所様と業務提携を結び、Hondaの安全教育ノウハウを使った交通安全教育や啓発活動などが始まっています。

### 全国展開の要 販売会社の新たな取り組み

お客様や地域との接点になるHonda四輪、二輪、汎用販売拠点は、全国規模で活動の定着と継続を目指す私どもにとって、重要な活動の場の1つです。

安全運転に関するHonda社内資格を取得した販売スタッフやサービススタッフが、お客様の経験

や困りごとに応じて、店頭で直接安全の知識や乗り方をお伝えしています。

また、販売店の駐車場や教習所のコース等を使い、車庫入れのような苦手克服から、滑りやすい路面でのブレーキ体験など、お客様のニーズに合わせた安全講習会も開催しています。今年は約3,000回（10月現在）行われ、約1万人のお客様が参加されました。

今年はまた、富山県や熊本県の四輪販売会社のように、積極的に広く地域の方に参加を呼びかけて講習会など安全イベントを開催したところも出てきています。

Hondaならではの販売会社店頭の安全活動を、今後とも強化していかなければならないと考えています。

### 全国8カ所の交通教育センターの活動

交通教育センターは、主として企業・団体の運転者、安全管理者と、各種スクールを受講する個人を対象に活動を行っています。年間の利用者は今年は8万人（10月現在）を超えました。

交通状況を動画で再現する「動画KYT（危険予測トレーニング）」は、集合教育の中で実践的に危険予測力を高める教育手法として企業様からの受講希望が多くなっています。

また、自治体からの要請で高齢ドライバー向けの研修「Honda健康ドライブスクール」や小学生



や中学生対象の自転車教室の実施など、地域と一体となった活動も広がっています。

## 先進性・独自性ある活動の強化

### 1. 気づきを促す実践的教育プログラムの開発

交通安全教育を進めるための教育プログラムと教育機器の開発・提供は、私どもが一貫して行ってきた重要な活動の1つです。

Hondaの教育プログラムは「危険を安全に体験する」を原点に、「参加し、体験し、体験を通して気づく」ことを特徴にしており、気づきを促す手法として、コーチング手法を採用しています。自らが気づくことが、自身の交通行動を変えるために重要との認識からです。

また、教育機器であるシミュレーターは、運転操作の練習だけでなく、危険の疑似体験、自分の運転への振り返りなど、実践的に気づきを促す教育を進める最適なハードウェアです。

これまで培ってきたシミュレーターの技術を使って、より広く、より多くの方にご活用いただけるように、小型のドライビングシミュレーターの開発を進めています。

自転車シミュレーターは、複数の教育現場で、自転車教育の効果的なプログラム作成に向けた取り組みを進行させています。個人指導など日常的に活用できる方法や、自転車シミュレーターで集合教育を可能にする手法など、すでにいくつかの成

果も上げています。

幼児や児童を対象にした「あやとりい」も、より現場で使いやすく教育効果のあるプログラムとするための開発にとりかかっています。

今後も、さまざまな交通安全教育の現場でより実践的な活動を進めるため、Hondaらしい先進性のある教育プログラムや教育機器を開発し、広く社会に提供していきたいと考えています。

### 2. 交通社会に潜在的に存在する課題の研究

複雑、多様化する交通社会では、潜在的な課題を予測し、発見し、先行的に対応を準備することが必要です。交通社会に影響を及ぼす社会的諸因子、各種交通手段の変化、交通事故の未来予測の研究を進めるなど、次の課題を明らかにするための調査研究にも着手しています。

## 2009年に向けて

私どもは来年度も「地域に根ざした活動」をさらに進化させ、加速していきたいと考えております。

交通社会が抱える問題から見ましても、また私どもが進める交通安全の生涯教育の観点から見ましても、地域を主体とした交通安全教育は、ますます重要性を増していくと考えられます。

世のため、人のため、交通安全のため、より豊かな交通社会の実現を目指し、皆様のご理解、ご協力を賜り、さらに活動を強化してまいります。